

作物の吸収特性と収支に基づく合理的なカリ施肥基準の設定

○実施期間：令和6～10年度

○担当部署：土壌化学部

○区分：重点研究

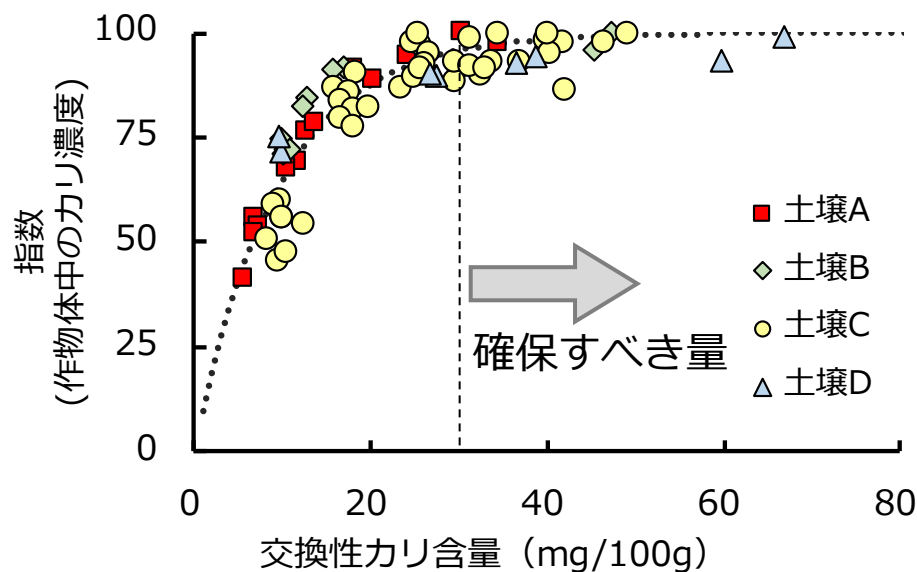
○研究内容

肥料成分の中で吸収量が最も多いカリについて、土壌中の過不足やカリ収支を踏まえた精密なカリ施肥基準を設定します。

当センターではこれまでに、トマト、土地利用型作物（水稻－小麦－大豆、2年3作体系）において、確保すべき土壌中の交換性カリ含量とほ場内のカリ収支に基づいた吸収量施肥によるカリ施肥基準を設定してきました。

本課題ではこれらに引き続き、ぎふ農業・農村基本計画で品目別施策が取り上げられている重点品目（ほうれんそう、えだまめ、だいこん等）を中心に、合理的なカリ施肥基準の設定を進めます。

【トマトにおける確保すべき土壌中交換性カリ含量】



【設定するカリ施肥基準のイメージ】

カリ施肥量 = 土壌中の交換性カリ含量 + 収支を考慮し不足量を施肥
(〇〇mg/100g) (吸収量〇〇kg-残渣〇〇kg)

作土部分の交換性カリ含量を〇〇mg/100g以上に補正し、吸収量分を供給